ｗｅｂ版
**研修センターだより出前研修号**

**◇◇◇◇◇◇◇◇◇　桑名市立長島北部小学校での研修を紹介します　◇◇◇◇◇◇◇◇◇**

長島北部小学校では、１年生から６年生まで、学校の希望により全学年とも自転車を中心とした研修を行いました。研修内容を各学年ごとに紹介します。

◎１年生

先ず、自転車は止まりたいところでブレーキで止まることが大事ですので、補助輪付自転車に乗ってブレーキ体験をしました。運動場に線を引き、線の手前でブレーキで止まる練習をしました。

◎２年生

自転車での行動範囲も広くなってくることから、自転車のルールを身につけ、その上での法規走行・技能走行をしました。

法規走行（左側通行、横断歩道の押し歩き、障害物がある場所の通行、一時停止等）

技能走行（スラローム）

◎３・４年生

法規走行は、２年生と同じですが、技能走行に１本橋（幅２０cm×長さ２m）・凸凹道が加わり、スラロームも少し難しい間隔になります。

◎５・６年生

法規走行の他に、技能走行では、１本橋を２本・スラロームは更に難しい間隔に挑戦しました。

各学年とも自転車の法規走行・技能走行とは別に、車両による死角・主な標識・自転車の基本的な乗り方・点検方法等の研修をしました。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

**次ページに研修風景の写真を紹介します。**

長島北部小学校（出前研修）№1

○全体説明

○乗車姿勢

○点検方法

○一本橋走行

○障害物回避（車椅子）

○発進準備

# 長島北部小学校（出前研修）№２

○交差点安全確認

○道路標識説明

○基本走行

○ブレーキの使い方

○トラックによる死角

○研修まとめ

## ☆☆☆☆☆☆☆☆　長島北部小学校３年生の感想です　☆☆☆☆☆☆☆☆

・今日「こうつうあんぜん」をしました。自てん車のチェックのし方は、「ぶたはしゃべる」でした。

「ぶ」はブレーキ、「た」はタイヤの空気、「は」はハンドル、「しゃ」は反しゃするもの、「べる」はベル。ぼくもこれで自てん車をチェックしたいと思いました。

・今日のこうつうあんぜん教室は、とてもわかりやすかったです。ぼくは、自てん車ののり方を知って、考えていたら、ぼくはのり方をまもっていなかったので、知ってよかったです。

自てん車体けんは、とてもおもしろかったです。
自てん車の点けんで「ぶたはしゃべる」というのは、とてもおもしろいいい方だったので、おぼえやすいし、よかったです。また、やってほしいです。

・こうつうあんぜん教室で思ったことは、自分では自てん車の正しいのり方はしらなかったから、すごいと思いました。

自てん車にのってコースに行った時こわかったです。とくにガタガタのところとペットボトルのジグザグが１番こわかったです。
１番さいしょに自てん車ののり方を聞いたとき、「なるほど。」と思いました。

・自てん車は、右からのると思っていました。でも、左からのると教えてもらって、これから左からのろうと思っています。

これから、こうつうじこにあわないようにしたいと思っています。
たまに自てん車で、右・左した見ない時があります。こんどから、右・左・後ろを見て、わたりたいです。

・さいしょは先生と話し合いをしました。いろいろな事を押し得てもらいました。たとえば、パンクしていないかチェックしたり、きゅうブレーキがちゃんととまるかとかをしました。
次に自てん車にのって、ちゃんとしたのり方をしているかチェックしました。いろいろなコースがありました。
おもしろかったです。